

報告 《特別講演会》ブロンスワフ・ピウスツキの遺したもの 2023. 3. 4

特別講演会「ブロンスワフ・ピウスツキの遺したもの」において、白老町・国立アイヌ民族博物館の佐々木史郎館長が「ブロンスワフ・ピウスツキが集めたアイヌの衣類」、田村将人資料情報室長が「ピウスツキが来たころと、その後の樺太アイヌの歩み」と題して講演しました。

参加者は70人超、情報豊富な講演のあと、エンチウ(樺太アイヌ)協会の田澤守会長や井上紘一北大名誉教授らも発言して熱い討論が行われました。

(謝辞)本講演会は株式会社三菱UFJ銀行様より『役員自身企画実施する社会貢献活動』の取組みの一つとして50万円のご寄付を頂いて実現しました。篤く御礼申し上げます。

内容詳細は POLE 次号別冊(2023.9)として報告書を発行予定です。



ロンドンにおける B・ピウスツキ特別展 「ニシパ〜アイヌの中で」

2022年10～11月、ロンドンのピウスツキ研究所創立75年を記念してブロンスワフ・ピウスツキの功績を讃える催し(10/3)大英図書館 The British Library でトーク「帝国時代の民族誌。ブロンスワフ・ピウスツキとアイヌ民族 Ethnography in Times of Empires. Bronislaw Pilsudski and the Ainu People」、(10/7-9)ロンドン西地域、テムズ川近くのハマースミススのウイリアム・モリス協会 The William Morris Society と、(10/24-11/4)ポーランド社会文化協会 Polish Social and Cultural Association で、写真・パネル・文献を中心とした特別展「ニシパ〜アイヌの中で Nispa. Among the Ainu」が開催されました。(吉田敬子、ロンドン在住)



(左から)テムズ川、ウイリアム・モリス協会入り口、入場者たち、ピウスツキ研究所のスタッフ2人

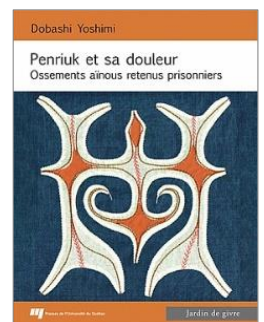


展示場内部、(右端)ろう管蓄音機

— 紀伊国屋 WEB STORE で予約受付中(2023/05 発売) —

土橋芳美著 『痛みのペンリウク〜囚われのアイヌ人骨』の仏訳の出版

Dobashi Yoshimi, Penriuk et sa douleur: Ossements aïnois retenus prisonniers, Presses de l'Université du Québec, 2023.1
カナダ・ケベック大学出版会刊、緒言 Daniel Chartier, 紹介 Jeffrey Gayman, 序文 花崎皋平, 訳 Etienne Lehoux-Jobin
「ペンリウク バフンケ 二十六時のペウタンケ」POLE96-2*の訳も収録



* <http://hokkaido-poland.com/POLE/POLE96-2DobashiNagaya.pdf>